

高宮小学校校歌について

令和2年4月1日に開校する、高宮小学校の新しい校歌が完成しました。高宮地区統合準備委員会では、高宮町にゆかりのある方に作詞・作曲を依頼しようということで、次のお二人に校歌を作成していただきました。

＜作詞：^{こがわみさ}小川美沙さん（吉田町在住）＞

高宮の子供たちが、成長してそれぞれの場所から故郷を想う時、子供のころの記憶がこの歌詞とともに思い起こされることを願い、歌詞を作りました。

1番は、高宮町の歴史や自然を守りつなげてくださった方々に感謝し、今ある美しい山水（山や川など自然の景色）に素直な心をうつし、学び成長していつて欲しいという思いを込めています。

2番は、町の花「ササユリ」のように清らかで笑顔溢れる日々を送り、町の木「ユズノキ」のように健康で子供らしく元気いっぱい育ててほしいという思いを込めています。

3番は、高宮町は星空がとても綺麗です。ただただ綺麗な星空を見上げることもあれば、逢いたい人を想い見上げることもあると思います。いつも見守られていることを感じながら、のびのびと育ててほしいという思いを込めています。

＜作曲：^{すみよし}住吉あいさん（高宮町在住）＞

歌詞の最初のフレーズに「霧深き山並みに」とあるように、高宮は田舎で過疎だけれども、美しい自然に囲まれて日々変化する季節のうつろいに心が震えるのを実感して過ごす中、この歌詞に自然とメロディーが寄り添ってきました。

子供たちが歌いやすいように短めにすることと最後のフレーズを統合するという意味で「合唱（ハモる）」ことにしました。校歌での合唱は珍しい試みかと思いますが、響きあう美しさを体験してほしいと考えました。

高宮小学校校歌		
作詞 小川美沙 作曲 住吉あい		
一、 霧 ^{きり} 深 ^{ふか} き山 ^{やま} 並 ^{なみ} に 緑 ^{みどり} かがやき水 ^{みづ} 清 ^{きよ} く 雲 ^{くも} はるか 心 ^{こころ} をうつし山水 ^{さんすい} に 学 ^{まな} びの庭 ^{にわ} に虹 ^{にじ} かか 彩 ^{いろど} り豊 ^{ゆた} かな未 ^み 来 ^{らい} へ 心 ^{こころ} ひとつに 高宮小学校 ^{たかみやしょうがっこう}	二、 風 ^{かぜ} 光 ^{ひか} るこの道 ^{みち} と 花 ^{はな} 笑 ^え み照 ^て らす学 ^{まな} 舎 ^{びや} で 共 ^{とも} に励 ^{はげ} まし 命 ^{いのち} の尊 ^{とつと} き育 ^{はぐ} んで 大 ^{だい} 地 ^ち に根 ^ね をはりたくましく 希 ^き 望 ^{ぼう} にもえて飛 ^と び立 ^た とう 心 ^{こころ} ひとつに 高宮小学校 ^{たかみやしょうがっこう}	三、 大 ^{おお} 空 ^{ぞら} に弾 ^{はじ} む声 ^{こえ} 瞬 ^{またた} く星 ^{ほし} に見 ^み 守 ^{まも} られ ふるさとの 歴 ^{れき} 史 ^し と共 ^{とも} に生 ^い きてい 夢 ^{ゆめ} へとつなぐ種 ^{たね} をまき 自 ^じ 分 ^{ぶん} の翼 ^{つばさ} で舞 ^ま い上 ^あ がれ 心 ^{こころ} ひとつに 高宮小学校 ^{たかみやしょうがっこう}